

個人で浄化槽を設置されている方は、 浄化槽の適正な管理をお願いします

保守点検 + **清掃** + **法定検査**



保守点検・清掃はお近くの専門業者へ、
法定検査は(財)鳥取県保健事業団へ依頼してね!

次に該当する方は、浄化槽を使用されていきますので、個人での管理が必要
① 便所は水洗だが、町から下水道使用料を請求されていない方
② 敷地内に、浄化槽のマンホール蓋(ふた)やブロワー(浄化槽に空気を送る装置)がある方
③ 単独処理浄化槽をお使いの方(単独処理浄化槽も法令上は「浄化槽」とみなされます。)
※単独処理浄化槽は、水洗便所の汚水だけを処理する設備です。風呂や台所などの生活雑排水もきれいにする「合併処理浄化槽」に転換しましょう。

浄化槽は、公共下水道が整備されていない区域などで、水洗便所の汚水や風呂・台所などの生活雑排水の汚れをきれいにし、川などへ放流するための設備です。しかし、浄化槽の管理が不十分な場合、汚れたままの汚水等が川などへ流れ出てしまい、悪臭や河川などの水質悪化の原因になります。
大切な自然を守り、また生活環境を保全するため、浄化槽を使用されている方は「浄化槽管理者」として浄化槽法に基づき適正な管理をお願いします。
※浄化槽整備事業で町が設置した浄化槽については、町で管理を行っています。

浄化槽管理者の義務

項目	内容	回数	依頼先
保守点検	機械の点検、修理、消毒剤の補充など	年3~4回以上	県知事の登録を受けた保守点検業者
清掃	たまった汚泥の抜き取りなど	年1回以上	(有)みつわ衛生社 ☎29-4461
法定検査	設置後検査 水質検査、設置状況の確認など	使用開始後3ヵ月を経過した日から5ヵ月以内に1回	指定検査機関 (財)鳥取県保健事業団 ☎39-3288
	定期後検査 水質検査、法令の遵守状況の確認	年1回	

※業者から渡される保守点検記録票、清掃記録票は、3年間保存が必要です。
※保守点検及び清掃の回数は、浄化槽の規模や種類により異なります。
※検査の結果、「不適正」と判定された場合は、指摘された事項を改善してください。

【問い合わせ先】 地域整備課 上下水道室 ☎68-5540
西部総合事務所 生活環境局 ☎31-9323



副町長に森田俊朗氏就任

森田俊朗氏が、10月1日、副町長に就任しました。
副町長は、前なのはな生活課参事監で、平成21年3月31日付けで退職していましたが、9月25日、伯耆町議会9月定例会の最終日、議会の同意を得て選任されました。

TOWN TOPICS

まちのわだい募集

【問合せ先】
地域再生戦略課
町づくり推進室
☎68-3113



万々に備えて 伯耆町防災の日 避難訓練

9月27日、伯耆町内全域を対象に避難訓練が実施されました。これは、伯耆町区長協議会が、町民の防災意識の高揚と災害時の迅速な対応を目指して、昨年から実施しているものです。
当日は午前8時のサイレンを合図に、町内58集落、2,638人が集落ごとに公民館などに避難しました。避難終了後には、消火栓・避難用具・煙感知器の点検・確認や、非常食の試食、小型ポンプによる放水訓練などを行った集落もありました。
スカイタウン大殿集落でも、79人が地区内の公園に避難し、避難終了後には、町消防団第6分団の指導のもと、消火栓による放水訓練を行いました。
災害は、無いに越したことはありませんが、万一のためにも日頃から訓練しておきたいものですね。



スカイタウン大殿で、消防団による消火栓の開閉・放水手順の指導が行なわれました。

森林の大切さを実感 森林施業体験教室

町内の小学4年生約100人が、10月5日、大滝で森林施業体験教室に参加しました。
この教室は、森林観察や自然水源観察及び林業体験をとおり、森林を守り育てる意識を養うことなどを目的に、伯耆町豊かな森づくり実行委員会が毎年実施しています。



鳥取大学の山本教授や学生の方々と森林を観察しました。



大山自然観察会の杉谷指導員から水のお話を聞きました。

日野森林組合の方などに教えてもらい枝打ちを行ないました。

「枝打ち体験」では、鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター、日野森林組合、日光地区協議会の方などから、枝打ちの方法や、安全のために注意しなければならないことなどについて指導を受けました。子どもたちは、始めは恐る恐る鋸を枝にあてていましたが、10分もすれば、上手に早く枝打ちができるようになっていました。
「水のお話」では、大山自然観察会の杉谷指導員から、私たちが生きるために必要な水が、この森林によって守られているのだという話を聞きました。お話が終わると、杉谷指導員にかけよって質問する子どもたちの姿が見られました。
「森林観察」では、鳥取大学の山本教授や学生の方々に樹木や草花の名称や特徴を学びながら森林の散策を行いました。
子どもたちは、枝や葉を採って観察したり、匂いを嗅いだりして、見慣れない植物に興味津々。特に、甘い実をつけたアケビを手にとると大きな笑みがこぼれていました。
当日は、雲はあるものの暑いぐらいの天候で、子どもたちの賑やかな笑い声が森や小川に響き渡っていました。